

①いのちの営みがある街「ホリスティックタウン」…鎌倉草創三本の柱①

①-1,医食同源

人が生きていく上で一番大事、でも「おぎなり」。2025年問題、医療介護は担い手が足りなくなる。感染症はコロナで終わりでは無い。今後また発生する。だから根本治療。

○まずは理解する

⇒食品添加物、農薬などの危険性、⇒糖質制限、ダイエット、健康食等の正しい情報共有

◎食の確保・食品自給率 38%を上げる(1965年は73%)

・食文化提携都市を作る⇒まずは姉妹都市から

・農園、果樹園の拡充⇒深沢地域整備事業用地等の活用

・鎌倉特産品の創出、家庭菜園の推奨、災害時の視点も重要

前号で理念・大項目を掲載しました。今回中身を掲載します。

① -2 適度な運動

スポーツ振興とは別に日頃の生活の中で習慣として体を動かす事を推奨していく。筋肉には、体を動かすための「骨格筋」、内臓を作っている「平滑筋」、心臓を作っている「心筋」の大きく分けて3種類があり、動かさなくなればなるほど、少しずつ衰えていきます。この筋力の低下の他、呼吸や食などの総合的な連動を考えていきます。

⇒ウォーキングなどの運動、ストレッチ等、⇒フレイル予防

更に詳細具体策はHPをご覧ください。

① -3,心、精神、癒し

自殺、貧困、障害、いじめ、DV、ジェンダーギャップ、雇用など現代社会の歪みは大きい。こへのアプローチは大変難しい。③の大きな社会の構築との連動が必要不可欠。

実態を知る事、相談出来る環境整備、居場所づくり、雇用。様々なアイデアとツール、マンパワーの総合力が必要です。国が本気で取り組む姿勢を持っていただきたい。

・総合センターの設立を国に提案して全国のモデルを創る

・生活困窮者支援の拡充(アウトリーチ)、・子ども食堂の全国モデルの構築

① -4,福祉

2025年問題は労働力不足、社会保障費のバランス崩壊、医療費自己負担額増加が発生する。この事への対応が重要。可能な限り住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるよう、地域の包括的な支援・サービス提供体制(地域包括ケアシステム)の拡充を推進していきます。

・在宅医療の促進を支援をしていく、・障がい者福祉→環境整備、居場所づくり、雇用づくり

① -5,子育て・教育

少子化問題は我が国の最も解決しなければならない課題です。もはや国難と言っても過言ではないと思います。地方自治体においてできる事は中々難しいですが、出産・子育ての環境整備でできる事は予算を投じてやるべきだと考えております。

鎌倉がモデル都市として手を上げて、様々な課題で全国で苦勞されている自治体の為に国と連携して、日本のモデルを構築する。→それには市民の皆様の多大な協力が不可欠です。

・少人数学級を進めていく、⇒ICT、AI等の進化への対応

・教員の残業手当・部活指導等の件は大きな問題

・学校運営に関しての事務的な手続きが曖昧でマニュアル化されていないように感じる。

○主体性を育む「複眼の教育」→自分で考え行動しそれを継続できる力をもてる教育を行なう

鎌倉市議会議員・長嶋竜弘(完全無所属) 131号3期目32号



稲村ヶ崎小学校⇒御成中学校
⇒茅ヶ崎高校⇒和光大学
さいかや、東急ハンズ、西友、道の駅などで勤務。自転車整備士
災害復興交流団体鎌倉とどけ隊

メール:kamakurasi@gmail.com
住所〒248-0023 鎌倉市
極楽寺2-6-10-201 在住

◆鎌倉市政 50 の課題…課題山積み、新駅をやる財政的余裕など無し!

1,気候非常事態対応、2,コロナ禍対応、3,SDGs 未来都市としての責任、4,今後の財政、5,ごみ問題、6,プラごみゼロ宣言、7,村岡新駅設置問題、8,本庁舎移転問題、9,深沢地域整備事業全体、10,総合防災対策、11,台風対策、12,地震対策、13,大船駅前再開発、14,旧野村総研跡地活用、15,扇湖山荘活用、16,旧前田邸活用、17,岡本2丁目土地問題、18,市有地の活用と管理、19,北鎌倉隧道通行止め問題、20,国道134号線改修、21,渋滞対策、22,ロードプライシング、23,新たなモビリティ、24,自転車ルール、25,スーパーシティ構想、26,鎌倉駅西口再整備、27,職員教育、28,職員コンプライアンス、29,市役所組織再編、30,自治体DX、31,市民活動の拡充、32,今後の観光対策、33,今後の商工振興、34,食品自給率改善、35,雇用対策、36,人権問題、37,貧困問題、38,自殺対策、39,人材育成、40,公共施設再編問題、41,学校施設老朽化問題、42,インフラ老朽化問題、43,長谷子ども会館跡地活用、44,玉縄青少年会館問題、45,おなり子どもの家問題、46,倒木対応、47,各所崖崩れ、48,第一中学校通学路土砂崩れ、49,鎌倉漁港の整備、50,コロナ後の未来

◆各課題長嶋考え方…✖本庁舎移転反対、✖村岡新駅反対

○本庁舎(⇒まず延命化して使用(⇒①現在地に小規模建て替え②大船と鎌倉の二拠点化③小規模分散化、○新駅(⇒金儲けの為のツールでしかない

○ごみ(⇒自区外処理は全否定はしないが、行き先の確実性と継続性の担保が重要(⇒ガス化溶融施設又は固形燃料化施設を建設(⇒広域化の中で協議(鎌倉は深沢地域整備事業用地、逗子葉山にも敵地の検討をお願いします)

○おなり子どもの家(⇒解体、跡地はしばらく外遊び場、憩いの場、駐車場等として活用(⇒木造(CLT工法等)の施設建築検討

○北鎌倉隧道(⇒既存の通行状態を保持する(通行止め以前の状態)

○扇湖山荘(⇒一泊100万程度の高級旅館誘致、迎賓館構想もあり

○旧野村総合研究跡地(⇒①大学誘致(芸術系・介護福祉系)②高級宿泊施設誘致③鎌倉DASH村的な構想(⇒①+②+③も検討できる。

② ゆりかごからゆりかごへ「地域型資本主義」への転換…鎌倉草創三本の柱②

②-2-1,再生可能エネルギー地産地消

- ・地域電力会社設立を目指す
- ・オフグリッド化を目指す
- ・ESG投資等の活用をはかる

②-2-2,観光都市から交流都市へ

◎交流人口・関係人口を増やす

- 歴史文化芸術による世界との交流
- 市民活動都市としてサミット開催により交流
- 観光版地産地消の推奨
- 医療観光の推奨
- 冠婚葬祭需要刈り取り
- 海岸線を総合マリリゾートに
- 清流滑川を中心に川を活かす活動

②-2-3,地産地消

- ・鎌倉市場・エシカル商店街設置(候補地深沢)
- 地域通貨の導入
- ・第一次産業の拡充

◎食品自給率の向上

- 鎌倉野菜、鎌倉海産物、新たな養殖
- ・災害対応策の林業
- 自伐型林業

②-2-4,外貨獲得

◎ネット商店街をつくり世界へ商品販売

- ・鎌倉特産品販売の拡充
- ・新たな特産品開発が重要

②-2-5,本社登記を促す、起業を促す

- ・場所の確保が必要

②-2-6,交通変革の対応

- ・MaaS(Mobility as a Service)の活用を推奨
- ・車は所有しない時代
- ガソリン車はなくなる、自動運転レンタルが普及
- マイクロモビリティ(グリーンスローモビリティ)
- 例:ハーモニアス・モビリティ・ネットワーク
- ・新都市交通(スカイウェイ等)の検討

②-2-7,ごみ、景観

○ごみをお金に変える

- 熱利用で養殖、栽培、温浴施設等
- ・自区外処理は全否定はしないが行き先の確実性と継続性の担保が重要。
- ・ガス化溶融施設又は固形燃料化施設の建設を検討→広域化の中で協議(鎌倉は深沢、逗子葉山にも敵地の検討をお願いする)

→生ごみエコフィードなど新たな処理方法の検討

・木造建築の推奨

→まずは公共施設から、神奈川県産木の活用

・天然素材の景観の街

→自然素材の塀→竹林に手を入れて

出た竹材で竹塀

→竹・木・石、固まる土、自然土系舗装材エコグリーンソイル、等活用

②-2-8,財政

内需拡大(地産地消)⇒貯め込んでいる資産を使わせる、外貨獲得

◎地産地消

→深沢地域整備事業用地へ地産地消市場&エシカル商店街

・一次産業への回帰

→有機栽培、養殖、自伐型林業

・ネット通販サイトの立ち上げ

○観光版地産地消

◎エネルギー地産地消

○ごみをお金やエネルギーに替える

・福祉バウチャー

○地域通貨導入

・公募地方債、クラウドファンディング

○本社登記を促す、起業を促す

・設備投資を始めとした投資を呼び込む
→坂ノ下空き地(ユーイービーチ)、扇湖山荘、由比ヶ浜空き地

◆更に詳細具体策はHPをご覧ください。

③ 自助共助公助が融合する「大きな社会」の構築…鎌倉草創三本の柱③

③-1,行政運営

○やり方を再構築する必要がある。

◎重要な案件は住民投票による意思決定を行なう

- ・市民活動都市として位置付ける→サミット開催で交流→活動場所確保が重要
- ・政策決定

→対話による合意形成→市民による審査又は投票→二元代表制を活かす

○第三セクター又は公社の設立検討

→作業センター、各施設運営、外郭団体、シルバー人材、各イベント・行事運営等
・採用教育人事

→採用試験時に適正検査導入、仕事の価値を知る、出世は人の為にする、自分の頭で考える、相手に寄り添う、チームで仕事をする等。

・SL理論(状況対応型)のリーダーシップスタイル

・満足度の向上

→「ES従業員満足度の追及」、「CS顧客満足度の追及」

・PDCAから脱却してスピードのある行政運営への転換。

→長嶋考案のリブーダオペレーション(ウーダループPDCAの複合型)

・自治町内会の活用

・広報のやり方の再構築

○マーケティング戦略室の創設

・各部署の政策を全庁的に推進する部署の創設

③-2,公共施設再編

○総論賛成、各論反対になりがち→対話での意見集約が必要

◎本庁舎は分散化

→小規模分散化が時代にマッチしている。

→各施設複合化検討(自治会館、消防分団小屋、学童施設、分庁舎)

→空き店舗、空き家を活用する

→学校・学童施設は早急な延命措置が必要

・マイナンバーカード普及、AI、ICT化による手続き等簡略化で効率化をはかる。

③-3,防災

○鎌倉の街にとっては目の前に迫った緊急課題です

・津波非難タワーは敵地があれば整備するが困難。津波シェルター普及を考える。

・急傾斜地は予算増額をして、危険箇所の判定と助成金の拡充を実施する。

・危険木の対応は自罰型林業、熱利用等のアウトプットとセットで考える

・河川の水害は遊水地などあらゆる雨水をためる方策が必要。

・河道の再整備、浚渫(しゅんせつ)工事がすぐできて効果の高い対策。

・避難所の環境改善が必要(プライベート確保の為テント購入、移動入浴車の購入)

◆「いざ鎌倉」かつて日本の中心地だった鎌倉が日本のモデルになる！



↑ HP

「鎌倉草創三本の柱」にはこの他に詳細策がございますので、Web ページをご覧くださいければ幸いです。